

2017 年度経済学・経営学コース 2 年生工場見学報告

長田華子（人文社会科学部准教授）

2017 年 8 月 9 日（水）に茨城大学人文社会科学部後援会のご支援を受け、日立建機土浦工場とあみプレミアム・アウトレットの 2 カ所の工場（および施設）見学を実施しました。

本事業は、2015 年度より、経済学・経営学コースの 2 年生を対象に、コース・ゼミナールの授業の一環として、継続して行っているものです。本年度は 2 年生 70 名と、研究生・大学院生 4 名、引率者としてコース・ゼミナールを担当する教員 6 名が参加しました。

当日、8 時 15 分に、茨城大学水戸キャンパスに集合し、大型バス 2 台で、日立建機土浦工場に向かいました。現地に到着後、日立建機の紹介 DVD を視聴し、その後、3 つのグループに分かれて工場内を見学しました。10 トンから 30 トン規模の建設機械の本体製造部分、組み立てライン、溶接をはじめとするほぼ全ての行程を見学しました。

工場見学終了後は、質疑応答の時間を 30 分ほど設け、見学を終えた学生は積極的に、担当者に質問をしていました。日立建機土浦工場の見学は、昨年に続き二度目であり、昨年同様案内役は、茨城大学の OB・OG（主に、工学部、理学部の卒業生）が担当しました。参加学生にとっては、自身の先輩たちが働く姿を間近に見ることができ、短い滞在時間ではありましたが、日立建機という企業に親近感を持ったようです。

正午に、日立建機での見学をすべて終え、バスに乗り込み、茨城大学農学部のキャンパスに向かいました。農学部の食堂で昼食をとったあと、農学部の教室を借りて、あみプレミアム・アウトレットの担当者から、アウトレットの歴史や立地条件、あみプレミアム・アウトレットの現状などに関する講義を受けました。

その後、農学部のキャンパスからプレミアム・アウトレットまで、バスで移動し、現地を視察しました。16 時半に現地を出発し、17 時半に茨城大学水戸キャンパスに戻り、解散しました。

午前中の日立建機は、製造業としての経済系、午後のあみプレミアム・アウトレットは主として、不動産の開発や売買を事業とする経営系として、経済学・経営学の双方の事業体を見学することができた点で、経済学・経営学コースの学生にとっては有意義であったように思います。また、学生個人やゼミ単位ではなかなか製造業の工程を見学することは難しく、コースの行事として実施が可能になり、貴重な経験になったのではないかと考えています。

クラスによっては、前期に事前学習、後期には、工場見学を受けての事後学習をするところもあり、今後のより深い学びに期待するところでもあります。引率した教員間でも、今回の工場見学の意義を共有しており、次年度以降も継続して実施していきたいと考えています。

末尾になりましたが、本工場見学を実施するに当たり、人文社会科学部後援会より多大なご支援を頂き、改めて御礼を申し上げます。